

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌

F A R

30 号

事務局：(社) 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556 / <http://www.jsrt.or.jp>. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

はじめに

副会長 川上壽昭



2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分に三陸沖を震源としてマグニチュード 9.0 という未曾有の規模で発生しました「東北地方太平洋沖地震」で被災されました会員の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

千年に一度といわれ、世界最大級の地震。その破壊力はすさまじく想像を絶するものでした。その爪痕は福島第一原発にもおよび **Meltdown** と報道されるなど重大事項を誘発する危機が続いています。近隣の被災者には避難や屋内待機の指示が出た。その影響で地域によっては物資が入らないで孤立状態に陥ったという。どの光景にも胸が痛みます。一日でも早い復旧・復興を望んでやみません。

会員の親睦を図り、JSRT の発展を支援することを目的として平成 13 年 4 月 5 日に第 58 回総会学術大会で発足した Fellowship for the Advancement of Radiology(FAR 会)も、今年で十年という記念の年を迎えることになりました。

FAR 会活動の十年を振り返って見ますと、先ず会員への情報提供としての情報誌の発刊であります。当初は FAR 会の活動状況、会員の動向、事業報告・事業計画、役員会報告など限られたものでありましたが、それだけではあまりにも味気なく、もう少し親しみのもてる内容をとの声の高まりもあり、初代の小川敬壽編集委員長のご努力によって、会員の情報がより伝わりやすい情報誌へと内容の充実が図られてきています。そして、会員相互の親睦を図るには欠かすことのできない懇親会の開催。杯を酌み交わしながら呂律もあやしくなった舌で現役当時の懐かしい話を夜の深けるのも忘れて話されている諸先輩の浴衣姿を目の当たりにして懇親会に出席してよかったとの思いをしています。

今年は、FAR 会の創立 10 周年記念として「FAR 会 設立 10 周年記念誌」の発刊が予定され、今、その準備が進められています。会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

また、今秋に神戸市で開催されます第 39 回秋季学術大会時の FAR 会懇親会は「**来ぬ人を まつほの浦の夕風に 焼くや藻塩の身もこがれつつ**」と百人一首に詠まれますように淡路島へのお越しを心待ちしています。

内 容

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 川上壽昭 |
| 2. FAR 会発足 10 周年記念事業の実施に向けて | |
| 3. 2011 秋の FAR 会予告 | |
| 4. 22 年度事業報告 | |
| 5. 23 年度事業計画 | |
| 6. 特集「道 程」 | |
| 1) 団塊世代 | 漢那憲聖 |
| 2) 「女のくせに」から | 平林久枝 |
| 3) 繋がり | 福西勝司 |
| 7. JSRT 情報 | |
| 8. 第 31 号の特集原稿募集 | |
| 9. 連載《ご当地自慢 千葉県南房総》 | 速水昭雄 |
| 10. 編集後記 | |

FAR 会 発足 10 周年記念事業の実施に向けて

副会長 四宮恵次

情報誌第 29 号の山田副会長《年頭ごあいさつ》や、本号の巻頭言《はじめに：川上副会長》にありますように、FAR 会は 10 周年を迎えることができました。これも一重に会員の皆さんの暖かいご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

この記念すべき年に当り、“何か後世に役立つ記念事業を行いたい”との提案があり、記念事業の内容についてはいろいろなご意見がありましたが、役員会で協議を重ねた結果、発足 10 周年と言う区切りの年に相応しい事業として

① 「FAR 会 シンボルマーク」の制定

② 10 年間の足跡を纏めた「記念誌の発行」を行うことが承認されました。

これらの記念事業は今までの FAR 会活動と同様に、会員の皆様のご協力なくしては出来得ないことは明白です。FAR 会は、その殆どの収入を会員の年会費に依存し、情報誌の発行や懇親会活動など、全てを会員のボランティアに頼ってきたことも事実です。

今回の記念事業に関しても、変ることなく世話人・委員を中心に、JSRT 事務局のご協力を前提に取進めることとなりました。ただ今回は、10 年と言う区切りの記念事業であることから、会員の皆様に協賛募金をお願いし、また関係先企業に協賛広告をお願いすることと致しましたので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

なお具体的な記念事業の取進めにつきましては、情報誌、ホームページ、メーリングリストを通じ都度ご案内、ご紹介いたしたいと考えております。

~~~~~

### 《2011 秋の FAR 会》予告

#### 「2011 淡路島を巡る旅」(10 周年記念懇親会)へのお誘い

世話人：代表 神澤良明、藤田 透、清水久子

2001 年に FAR 会が神戸で発足し、2002 年には発会記念パーティも神戸で開催と、FAR 会にとって神戸は縁がふかい街です。今回の秋季大会は久々に神戸で開かれる学術大会でもあり、神戸から行ける神秘的な淡路島に皆様をご案内したいと計画しました。淡路島の全てはお見せできませんが、魅力の一端をお楽しみ頂ければ幸いです。

淡路島は北は明石海峡大橋（全長 3,911m 世界最長の吊り橋）、南は大鳴門橋（全長 1,629m）で本州（神戸市）と四国（鳴門市）につながり、大鳴門橋からは鳴門の渦潮を眼下に遠望することができます。

また、温暖な気候と豊富な食材や豊かな海の幸で旅の夕べを楽しませてくれると確信しています。日本神話の国産み・神産みに登場する伊弉諾（いざなぎ）尊、伊弉冉（いざなみ）尊を祀る伊弉諾神宮など一見の価値があります。伊弉諾神宮のある淡路市一宮町は古くから線香の製造が盛んでその生産量は、全国生産量の七割です。このような線香製造工場の見学、そしてお香作り体験なども計画しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

記

開催日 平成 23 年 10 月 30 日（日曜日）～10 月 31 日（月） 一泊二日

集合地 国際会議場 14 時頃

宿泊地 夢海遊 淡路島（兵庫県洲本市） <http://www.yumekaiyu.com/>

参加費 会員 25,000 円（会員助成有）、非会員 30,000 円

日程 10 月 30 日 午後 2 時頃三宮バスターミナル出発 \*\*\*\*\* 午後 3 時 30 分頃宿泊地到着、ゆっくり温泉を満喫

10 月 31 日 8 時頃出発 \*\*\*\*\* 大鳴門橋・渦潮 9 時 30 分一宮町 薫寿堂 見学・お香作り体験、伊弉諾神宮参拝 11 時 30 分淡路ハイウェイオアシス イタリアンレストラン・ポンテメールで昼食 午後 2 時頃 新神戸駅（新幹線）、三宮（空港バス）到着 解散

申し込み方法等、詳しくは 9 月号で案内します。

お問い合わせは神澤良明までお願いします。kan0329@nifty.com



~~~~~

【平成 22 年度事業報告】

1. 会員動向 会員数：97 名（平成 23 年 3 月 31 日現在）
新入会：11 名（飯田泰子、今井 方丈、上田克彦、小口 宏、奥村雅彦、漢那憲聖、
小松明夫、高橋司伸、花山正行、宮地利明、八木浩史）
退 会：5 名（木下富士美、島田裕宏、志村元久、中村純雄、吉富元康）
死 亡：2 名（遠藤久勝、須山正一）
2. 学術大会（春、秋）に合わせた親睦・交流事業の推進
 - 1）第 66 回総会学術大会時の催し「2010 FAR 懇親の夕べ」
4 月 10 日（土） 横浜市 美濃吉 参加 35 名
 - 2）第 38 回秋季学術大会時の催し「2010 杜の都への旅」
10 月 16 日（土） 泊 仙台 松島一の坊 参加 18 名
3. 情報誌の発行
第 27 号を平成 22 年 5 月 15 日、28 号を 9 月 15 日、29 号を平成 23 年 1 月 15 日に発行した。
4. 役員会・運営委員会の開催
役員会を 22 年 4 月（横浜）、10 月（仙台）で、運営委員会を 22 年 8 月（京都）、23 年 1 月（京都）にて開催した。

【平成 22 年度収支決算報告】（22.4.1.～23.3.31.）単位：円

〔収入の部〕

予 算		決 算（摘 要）	
前年度繰越	1,033,410	1,033,410	
年会費	190,000	194,000	97 名分（未納 3 名）
寄付金	150,000	80,000	横浜、仙台の催し時
広告料	0	0	募集せず
事業負担金	580,000	591,000	横浜、仙台の個人負担分
雑収入	5,000	48,413	預り金振替、他
小 計（A）	925,000	913,413	年度収入差額（▲11,587 円）
預り金（23 年度～	160,000	500,000	80 名分
合 計	2,114,410	2,446,823	

〔支出の部〕

予 算		決 算 (摘 要)	
情報誌作成費	30,000	20,000	27, 28 号編集諸掛
事業費	710,000	787,651	横浜、仙台の催し費用
会議費	20,000	39,600	役員会費用
運営旅費	100,000	36,540	運営委員会、総務委員会、費用
通信郵送費	55,000	75,040	情報誌、会員連絡、役員会等
事務用品費	25,000	14,560	CD、用紙代など
新規事業費	300,000	278,250	H P 導入諸掛
雑費	5,000	5,030	手数料
小 計 (B)	1,245,000	1,256,671	年度支出差額 (11,671 円)
預り金 (23 年度～)	160,000	500,000	80 名分
次年度繰越	709,410	690,152	22 年度収支差額(A-B=▲343,258 円)
合 計	2,114,410	2,446,823	

【平成 22 年度 会計監査報告】

平林久枝会計監査より下記①～④の資料に基づき会計監査を行い、適正に処理されていると確認したと、報告した。

①FAR 会平成 22 年度収支決算書、②FAR 会現金出納帳のコピー、③FAR 会郵便貯金・振替受払通知書のコピー、④FAR 会会費納入台帳のコピー

【平成 23 年度事業計画(案)】

1. 学術大会（春、秋）に合わせた親睦・交流事業の推進
 - 1) 第 67 回総会学術大会時の企画「2011 FAR 懇親の夕べ」は中止
4 月 9 日（土） 横浜市「すずよし」を予定
 - 2) 第 39 回秋季学術大会時の企画「2011 淡路・鳴門への旅」
10 月 30 日（日）1 泊 2 日、 淡路島「夢海遊」など
2. 情報誌第 30, 31, 32 号の発行（平成 23 年 5 月、9 月、24 年 1 月を予定）
3. FAR 会発足 10 周年記念事業
 - 1) FAR 会のシンボルマークの制定
 - 2) 10 周年記念誌の発行
4. 役員会・運営委員会の開催
役員会を 23 年 4 月（京都）、10 月（神戸）で、運営委員会を 23 年 8 月（京都）、24 年 1 月（京都）で開催の予定。
5. 共通する趣味、活動の推進と HP, ML を利用した会員の情報共有を推進する。

【平成 23 年度収支予算(案)】 (23. 4. 1. ～24. 3. 31.) 単位：円

〔収入の部〕

予 算 額		摘 要
前年度繰越	690,152	
年度会費	200,000	100 名×2,000 円（退会見込を加味、新入会勧誘）
寄付金	0	横浜は中止、淡路は記念事業協賛費に計上
広告料	0	通常の情報誌は募集せず
懇親会費	500,000	横浜は中止、淡路（20 名）の個人負担 ※
記念事業協賛費	150,000	協賛募金、協賛広告、寄付金など
雑収入	20,000	預り金振替, 他
小 計 (A)	870,000	
預り金 (24 年度～)	322,000	69 名分
合 計	1,882,152	

[支出の部]

予 算	額	摘 要
情報誌作成費	40,000	29, 30, 31, 32 号編集諸掛
懇親会経費	600,000	横浜（中止）、淡路（20 名）催し費用 ※
記念事業費	150,000	10 周年記念誌、作成・発送諸掛など
会議費	50,000	役員会費用
運営旅費	80,000	運営委員会、総務委員会、費用
通信郵送費	70,000	情報誌、会員連絡、資料送付など
事務用品費	20,000	前年実績なみ
新規事業費	50,000	簡易製本機、主製本材料の取得
雑費	5,000	振込み手数料
小 計 (B)	1,065,000	
預り金 (24 年度～)	322,000	69 名分
次年度繰越	495,152	年度収支差額(A-B=▲195,000 円)
合 計	1,882,152	

(※) 懇親会負担金：会 員—淡路 (25,000 円／人) 、助成金 : 淡路 (5,000 円／人)
非会員—淡路 (30,000 円／人)

~~~~~

## 《特 集》

### 「道 程」

多くの方から玉稿をいただくことが出来ました。今は元気でも明日は我が身です、十分にご自愛いただき年 2 回の FAR 会懇親会ではお目にかかりたいと思っています。お忙しい中、原稿をお送りいただきました皆さんに、厚くお礼申し上げます。

特集企画 森 克彦

### 1) 団塊世代

京都市 漢那憲聖



この原稿を書くに当り

未曾有の大地震に遭遇し避難所生活を余儀なく送られている皆様は過去の平和で、のんびりとした生活状態への 1 日も早い復帰と現在も増加中の亡くなられた方には心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

我々、団塊の世代は物資も現在のように豊富でない幼少時代や 3 当 5 落（森先生の笑顔が浮かぶ・・・2 人だけの話）の青春時代が走馬灯の様に回顧できる余裕と時間を定年と言う人生の節目に、持てるようになりました。

集えば自身の健康状態、年金問題、と話題が暗くなりますが、孫の話に移行すると歯の抜けた口元よりの言語は明瞭さを欠くも、笑顔の表情は喜びの最高潮に達する。（ジジ馬鹿ここに極まれり）。孫こそ命、我が～命！

① 2 階に上がったものの、用事が何なのか思い出せず、思い出しに 1 階へ。

② 食事をこぼしても気が付かない。

③ 人名、地名や物品の名前が思い出せず「あれ、あれ」と代名詞を多用する。

以上はこの年代の共通する今日この頃の日常茶飯事な行動である。

私の関係する放射線技師という職種の皆様、前向きで陽気な性格の方が多い。

そして、良く酒を飲む。恐ろしく強いノダ。

メタボ、高血圧、中性脂肪値が少々、高値を示そうが動じず各人の測定値を比較しそれを話題に酒を飲む。

私を含めて記憶の無いまま、放射線を被ばくした結果の異常行動なのか？被ばくを恐れた自己防御、の手段が飲酒？

今日も飲酒日の連続日数を途絶える事、無く更新中の輩が多いのではと想像を巡らせながら懐かしい過去の生活行動を思い出そうとするも、現在が楽しければ全て良し。



過去は反省材料のみで過去に拘らない事とした。結論、現在を楽しもう。

さあ、団塊の諸君、残された人生の行動時間は少しずつではあるが、終焉が近づいている現状を考えると、目一杯、人生を楽しまなきゃソン、ソン。

同士よ現状を受け入れ手を携え酒を飲み、声、高々に「六甲おろし」を歌いながら「三途の川」目指して進もう。三途の川、皆で渡れば怖くない。

この集団に怖いものは無いのだ。いざ進め～  
やったルデ～

## 2)「女のくせに」から…

小金井市 平林 久枝



女性の診療放射線技師が当たり前の昨今であるが、私がこの道に進んだ頃は珍しく、技師学校で女生徒は3人だけであった。女子高出身でも、人足らずのクラスであり違和感はなかった。昼休みに大学のグラウンドで彼らとソフトボールに興じる事もあった。体育の時間のラグビー実技では、流石にスクラムを組む事には参加させてもらえなかった。足に包帯を巻いた実験中の犬が歩き回るような大学病院の奥にある教室で受ける授業であったが、学費不要で実習用白衣まで貸与され、恵まれた学生生活と感じた。

女子は就職難であったが東京で職を得た。安月給といえども男女同一賃金は技師資格のお陰である。当時、入場料50円で3本立ての映画を見てラーメンを啜る位が楽しみであった。時あたかも60年安保、病院ストに大揺れの東京で鉢巻を巻いてスクラムを組んだことを思い出す。

信州の北アルプスの麓で戦時中に東京の集団疎開児童を受け入れるような村で育った。農家で男兄弟の下の子であり、小学生の頃から子守、雑巾かけは当たり前、養蚕で多忙な母の代わりに早朝から竈でご飯を炊く役割もあり、時には居眠りをしてお焦げを作って叱られる事もあった。男兄弟との差別もなんのその、近くの湖で泳ぎ、木登り、仲間とグミや山菜採りに出かける自然児であったが、忙しい我が家の農業の手伝いもした。勉強が好きなわけではないが家事手伝いから解放される学校が大好きであった。

元気な女生徒組で苛めっ子の男子生徒を密かに呼び出して校庭の雪の中に埋めて仕返しをするような、正義の味方気どりの子供でもあった。この歳になって、同級会で当時の悪童と顔を合わせたら何を言われるやら…。

何かにつけて「女のくせに」と言われる時代で、高校の体育大会の企画委員会でプログラムに騎馬戦を提案して良妻賢母教育を旨とする職員達から猛反対された。騎手を引き落とすことから騎手の鉢巻を取るルールに譲歩して創立以来、初めての「騎馬戦」となった。クラブ活動ではソフトボール部で勉強より熱心に練習をしたが、地区の強豪チームに阻まれて、県大会出場は一回だけであった。白樺林の向うに北アルプスの山々が見える校庭で練習した日々と空腹で通ったパン屋のオバサンの顔を懐かしく思い出す。



親の意に沿う娘らしい道に反抗して、経済的に負担が少なく、生活が保障されそうなこの道に進んだ次第である。そして柳工李と布団袋をチッキにして大阪に向かった。技師学校卒業後は東京に就職したのは2人だけであったが先輩達が何かと面倒を見てくれた。それから半世紀、30代に休職してアメリカ大陸陸路縦断の気ままな旅に出たこともあったが、転職(?)することもなく定年を迎えて現在に至るというお話である。

## 3) 繋がリ

高槻市 福西 勝司

道のりって何だろう。行く道は遙か遠く未知の魅力や困難に満ち、振り返ってみる道は意外と短く全てのことがついこの前のことのように圧縮されている。ところが何かのきっかけで記憶が呼び起こされると、その道のりには成功や失敗と共に、自然や人との多くの貴重な繋がりが出来ているのに気付く。永年、学会の事務局にお世話になったが、若い頃は企業に勤め医用機器の研究開発や製造に携わっていた。20代から40代前半は治療装置や



診断装置の研究開発を、40代後半から50代前半は医用機器やその他の製造を担当してきた。一言でいえば技術への道のりを辿ってきたのかなと思っている。この度の東日本大震災については、その報道を聞くたびに、被災地の自然や人々に対する思いがこみ上げてくる。また、技術に携わってきたものとして、地震や津波に対する対策や原発の事故と対応に思いを馳せることも多い。とりわけ自分の歩んできた道のりの節目には、その自然や人々との大切な出会いがあったと思っている。

1980年の総会学術大会は仙台で開催された。画像に関する共同研究発表があつて参加したものの複雑な心境であつた。というのも、その直前にあるプロジェクトに属して調査を行うことを命じられていたからである。治療装置の開発から診断装置の開発に変わり透視撮影台の開発に情熱を傾けていた時であつたが、プロジェクトの進展次第では研究開発が続けられなくなる恐れがあつた。展示会では直前まで開発に取り組んでいた新製品の紹介はもはや自分の仕事ではなくなっていた。ただ、自分の気持ちとは裏腹に、春の日差しの中で仙台の街は輝いていた。青葉城の桜や松島の風情も温かく元気や勇気をもらった思いであつた。やってみようとの決意を後押しされた気がした。結果的にこの調査活動は1年で終わり研究開発に復帰することになったが、この時に学んだ製造技術や海外情報は、後の研究開発や製造の支えとなり海外生産や海外調達のベースともなった。長い道のりには予期せぬ道や回り道も存在するが、踏み出せば得られるものもあるということを実感した時期であつた。

研究開発についても忘れられないことがあつた。ある県立の病院で断層撮影装置の画像のデジタル化の引合いがあつたが、装置の改造として予算化されているのを知ったのは、どう頑張っても納期的な見通しが立たない時期であつた。お断りと謝りに行った。厳しいお叱りを受けるものと覚悟していたがそうではなかった。撮っておられた画像を見せていただいた後に、「残念だけれど出来ないのはよく解った。せつかく来たのだから我々の思いを聞いていってくれ。」と言われ、神妙に先生方のお話をお聞きした。お叱りを受ければ気持ちの区切りが出来たであろうが、我々の心の中には何とも言えない思いが残った。そして、我々が独自に研究計画を立てて新製品の開発に邁進するまでに時間はかからなかった。お断りしたのにお使いいただけるはずはないと思いながらも・・・1年後に新製品として発売した。自分はその後に工場に移ったので、結果的に技術で仕上げた最後の仕事のひとつとなった。後に営業の担当者から、病院が再度予算を確保されて買っただいたと聞いた時は、情けに触れたというか、思わず頭の下がる思いであつた。同様の交流や繋がり他病院でもあつた。

東北には自然にも人にも、周りの人を勇気付け鼓舞する何か大きな温かさのようなものがあるように思えてならない。復興の道のりは長く険しいと思われるが、頑張っていたきたい。



## 《JSRT 情報》

『第39回秋季学術大会』 大会テーマ：「明日に架ける橋―生命の光を技で紡ぐ―」

大会長： 船橋正夫（大阪府立急性期・総合医療センター）

会 期： 平成23年10月28日（金）～30日（日）

会 場： 神戸国際会議場

『第68回総会学術大会』

大会長： 土井 司（大阪大学医学部附属病院）

会 期： 平成24年4月12日（木）～15日（日）

会 場： パシフィコ横浜会議センター 他

## 《原稿・作品募集》

【第31号特集テーマに対する原稿募集】(9月15日発行予定)

### ■□■□■□「私の隠れ家」□■□■□■

FAR 情報誌 第31号特集テーマは、「私の隠れ家」に決定しました。

長い人生の間には、フーと息を抜ける、心のやすらぎを与えてくれる所、静寂で、しかも自分だけの時刻(とき)を過ごせる場所をご存じ在りませんか。

皆様の心地よい、憩いの「隠れ家」をお知らせ下さい。

特集企画 伊藤博美

#### 記

原稿内容 : 副題(ご自由な題をお付けください。)

原稿文字数 : 800~1200字(400字原稿用紙で2~3枚程度)

写 真 : 先生の写真(半身)及び内容に関わる写真を原稿に添えてお送りください。  
写真はカラープリントまたは電子データいずれでも構いません。

原稿形式 : 手書き、ワープロ印字、メール添付など何でも結構です。

提出期限 : 8月15日必着でお願いします。

送 付 先 : 伊藤博美 〒181-0014 三鷹市野崎 3-21-37 宛

E-mail : hiromiy@ac.auone-net.jp

## 【会員投稿、作品の募集】

毎号掲載している《会員の広場》に、趣味の話や旅行記、絵画、書、写真など気軽にご投稿下さい。

原稿の文字数は600~800字(多少の伸び縮みは構いません)で手書き、メール、ワープロ、フロッピー、郵送のいずれでも結構です。

原稿は随時受け付けていますが、31号の締切は8月15日になります。

投稿される際は、旅先の写真や趣味で楽しめる写真を付けて頂ければより説得力が倍加します。

【送付先】 山田和美 〒270-0131 流山市美田 69-293・Email:kazumi40.yamada@nifty.com

~~~~~

《連 載》

ご当地自慢『千葉県南房総』

鴨川市 速水昭雄

今回のご当地自慢の執筆を編集長の山田さんから依頼されていましたが、良く考えて見ると私が鴨川市の住民になって20年を過ぎましたが、地元のことを殆ど知らないことに気がつき、この機会にと思い自分の勉強を兼ねて改めて地元の歴史を調べてみましたので、その一部を紹介させていただきます。

話は多少逸脱しますが、この南房総地域は日本でも先進の高齢化地域でありまして、現在平均でも30%の高齢化率であり、これから20年間は東京を含めた大都市でも少子高齢化が急速に進み、今後ますます老人医療・介護が大きな社会問題になることとなります。この地域では既に受け入れの需給のバランスがとれない状況にあります。このような社会問題に対応するための社会実験として、この鴨川市と亀田総合病院での医療と介護の特区構想を提案しています。これからもこの地域から最新の医療への挑戦をしていければと考えています。鴨川市はローカルな小さな町ですが今回は南房総半島を中心に紹介させていただきます。

鴨川市のある房総半島は関東でも半島の先端に位置しており、交通の便も悪く最近までは陸の孤島的な存



在であり、それがために古き伝統的な文化・歴史や最近は忘れ去られようとしている良き慣習が今も残されている地域であります。

FAR 会の皆様には一度（平成 17 年）亀田病院の見学も兼ねて鴨川にはきていただきましたが、時間の関係でその時にご案内出来なかった名所も含めて紹介させていただきます。

日本地図の中では南房総と紀州和歌山とは立地条件や環境が非常に似かよっており、例えば地名でも白浜市や勝浦市などはともに存在しています。これは昔、遠洋漁業の基地としての共有点があり両地域の交流があったことが忍ばれます。

南房総の歴史としてはあの有名な『南総里見八犬伝』は、室町時代後期を舞台に、安房国里見家の姫・伏姫と神犬八房の因縁によって結ばれた八人の若者（八犬士）を主人公とする宝井馬琴の長編伝奇小説であります。

1、南房総の歴史： 安房国の沿革

安房国（あわのくに）は、かつて日本の地方行政区分だった国の一つで、東海道に属す。現在の千葉県南端にあたる旧国名。房州（ぼうしゅう）と呼ぶこともある。豊臣秀吉による小田原城攻め以後は、安房一国が里見氏の領地となった。その後は、東条藩、勝山藩、上総百首藩、北条藩、館山藩などの諸藩と、幕府領・旗本領が置かれた。明治 2 年（1869 年）安房では勝山、館山、北条の 3 藩に、新たに長尾藩、花房藩 2 藩が置かれた。

この地の幕府領・旗本領は安房上総知県事・柴山典の管轄となり、翌年に宮谷県が置かれて柴山典が権知事となり、安房 4 郡の約 5 万 6 千石を管理した。明治 4 年（1872 年）、廃藩置県によって安房国の領域は木更津県に編入され、1874 年（明治 6 年）木更津県と印旛県の合併により千葉県に編入した（なお、1897 年（明治 30 年）には旧安房国 4 郡が統合されて、千葉県安房郡として再編されている）。

2、名所

誕生寺（鴨川市）

誕生寺（たんじょうじ）は、千葉県 鴨川市小湊にある、日蓮宗の大本山。山号は小湊山。日蓮の誕生を記念して出身地に建立された。

歴史

1276 年 10 月、日蓮の弟子の日家が日蓮の生家跡に、高光山日蓮誕生寺として建立。しかし、その後、1498 年、1703 年の 2 度の大地震、大津波に遭い、現在地に移転された。その後、26 代日孝が水戸光圀の外護を得て七堂伽藍を再興し、小湊山誕生寺と改称したが、1758 年に、仁王門を残して焼失し、1842 年に 49 代目



闡が現存する祖師堂を再建した。近代に入り、大正天皇の病氣平癒の廟所が建立された。その後、昭和から平成にかけて、50 万人講を発願して諸堂を復興、1992 年（平成 4 年）5 月に落慶法要が行われた。2001 年（平成 13 年）10 月には『誕生寺の線香と磯風』がかおり風景 100 選に選定されている。図 1、2）

誕生寺仁王門 と日蓮聖人幼少時立像（図 1、2）



清澄寺（鴨川市）

清澄寺（せいちょうじ）は、千葉県鴨川市清澄にある、日蓮宗の大本山。山号は千光山。日蓮が出家得度および立教開宗した寺とされ、久遠寺、池上本門寺、誕生寺とともに日蓮宗四霊場と呼ばれる。（図3）

清澄寺本堂（図3）

歴史

771年不思議法師が訪れて虚空蔵菩薩を祀り、山岳信仰の霊場となる。836年円仁が訪れ、天台宗となる。1096年雷による火災で堂宇が焼失し、国守の源親元が再建する。1219年頃北条政子が千日講を催し、宝塔・輪蔵が造立されたほか大蔵経4,000巻余が納経された。1233年道善を師として、日蓮が入門する。1253年6月2日（旧暦4月28日）に日蓮が立教・開宗する。清澄山の主峰は標高383mの妙見山で、千葉県で2番目に高い山である。なお、本堂付近の標高は約310メートルである。南房総国立公園に含まれており、北斜面には暖帯性、南斜面には亜熱帯性の植物が自生する植物分布の境界となっている。また、安房・上総の分水界であり、養老川や小櫃川も清澄山を源流とする。地質学的には新第三紀に形成され、泥板岩や砂岩で構成される。山周辺には旭ヶ森があり仏舎利塔も建つ。清澄山は本土で一番早く初日の出が拝める場所でもあり節分には豆まきも行われている。また、山周辺の一帯には東京大学農学部の演習林がある。

3、観光地

首都圏観光地としてよく知られているのは鴨川シーワールドであります。特にシャチの人工飼育として有名である。また、昔は何処にでもあった山間部の棚田も今は殆ど見られなくなりましたが、鴨川の千枚田は今も昔ながらの手作業による農作業の保護が行われており、最近では観光的にその棚田の美しさが取り上げられるようになった。（図4、5、6）



図4 鴨川市大山千枚田の夜間ライトUP



図5、6 鴨川シーワールド

鋸山 日本寺

日本寺（にほんじ）は、千葉県安房郡鋸南町にある曹洞宗の寺院。山号は乾坤山（けんこんざん）。本尊は薬師三尊薬師如来の大仏（日本寺大仏）があることで知られる。

歴史

日本寺伝によれば、聖武天皇の勅願により、行基によって725年に開山されたとされ、当初は法相宗に属していたという。最盛期には七堂十二院百坊を有する規模を誇り、良弁、空海、円仁らが留錫（りゅうしゃく）したと伝える。良弁は木彫の大黒天を彫り、空海は100日間の護摩を焚き、石造の大黒天を彫り遺し、仁王門の金剛力士像は円仁の作とする伝承がある。

真言宗を経て、江戸幕府三代将軍徳川家光の治世に曹洞宗に改修した。幕府から朱印状を与えられていた。境内にある五百羅漢像（千五百羅漢）は、江戸時代後期にこの寺を復興した高雅愚伝（当寺第九世）が発願したもので、上総国望陀郡桜井村の石工大野甚五郎が21年（1779年～）の歳月をかけて彫ったものである。明治に入り、神仏分離に伴う廃仏毀釈や1939年（昭和14年）の火災などにより、現在残る堂宇は仮本堂をはじめごくわずかとなっている。（図7，8）



図7，8 百尺観音と地獄のぞき

勝浦市

勝浦市の海中公園は1974年6月に指定され、40番目の海中公園となった。付近一帯はリアス式海岸であるため、岩場が多く、ウニやアワビなどが生息している。

公園内には海中展望塔を中心に海の博物館（千葉県立中央博物館分館）やレストランなどの施設がある。（図9）また勝浦市漁港の毎週日曜日に開催される朝市とひな祭りの時のひな壇飾りは非常に有名である。（図10）

図9，10 勝浦海中展望塔と勝浦市のひな祭り



~~~~~

### 《編集後記》

情報誌30号をお届けします。なんて偉そうなことを言っていますが実は山田和美先生のご指導とそれ以上のおんぶにだっこ手取り足取りによることでできあがったものです。仕事が早くほんとに感心しました。

3月11日、M9の大地震が東日本を襲いました。発生した大津波、信じられない原子力発電所の破壊と放射能汚染の現実。死亡者数14000人以上、行方不明者数12000人以上、そして避難者数125000人以上の大災害になりました。災害に遭われました方にお見舞い申し上げます。またお亡くなりになりました方に心からお悔やみ申し上げます。JRC2011も横浜開催がWEB開催に変更になり、江島大会長のお気持ち察いたしますと言葉もありません。WEB開催に多数の参加を祈っています。今春の懇親会も中止になりました。

秋の設立10周年記念懇親会「2011 淡路島を巡る旅」に多数ご参加下さい。

次号乞うご期待

（石井 勉 記）

#### FAR情報誌 No. 30(非売品)

発行日 平成23年5月15日  
発行者 橋本 宏  
編集委員会 山田和美（委員長）  
伊藤博美 森 克彦  
石井 勉 小川敬寿  
山田連絡先 Tel&Fax:04-7153-4559  
Email:kazumi40.yamada@nifty.com